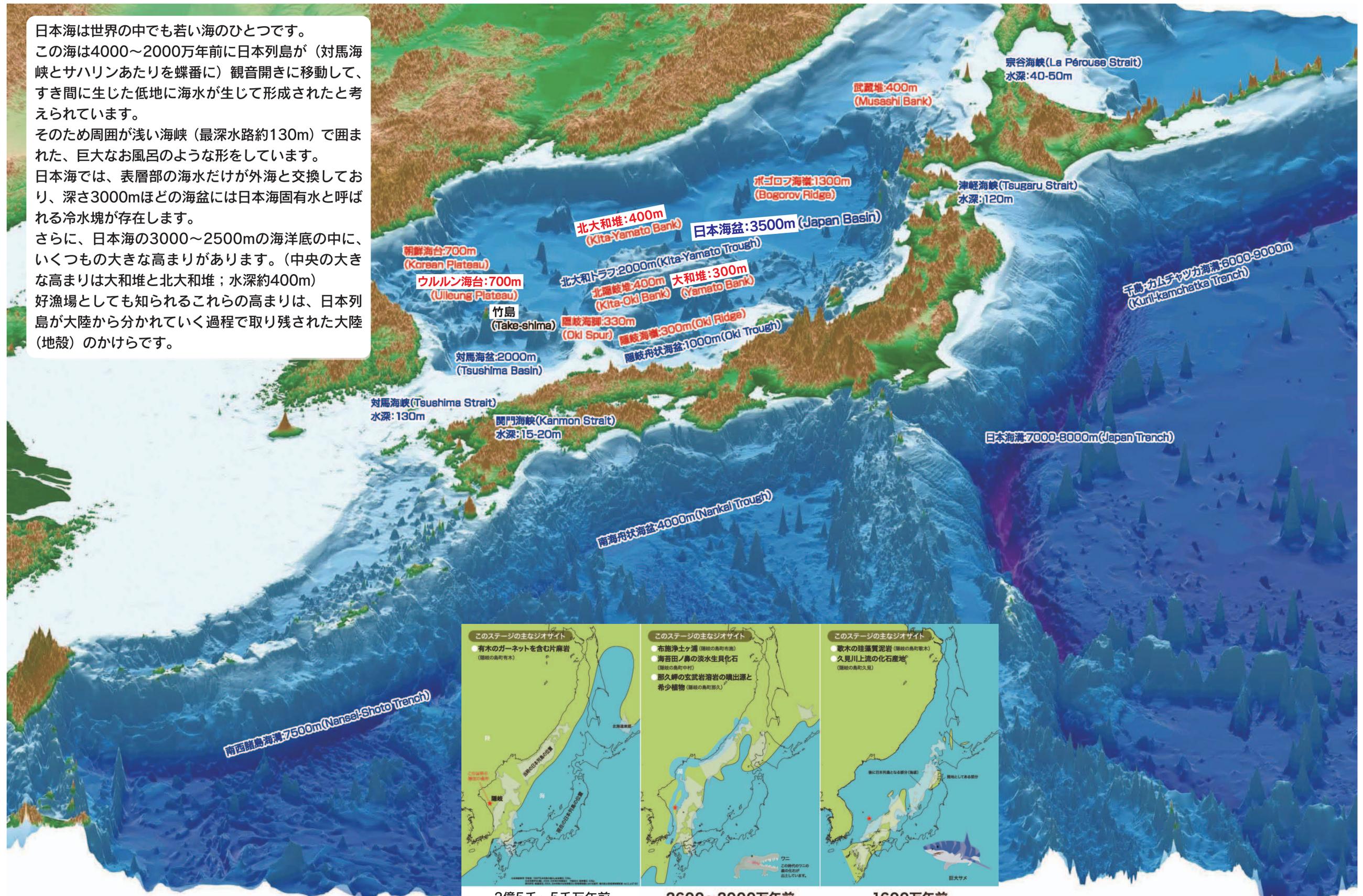


日本海の特徴

日本海は世界の中でも若い海のひとつです。この海は4000～2000万年前に日本列島が（対馬海峡とサハリンあたりを蝶番に）観音開きに移動して、すき間に生じた低地に海水が生じて形成されたと考えられています。

そのため周囲が浅い海峡（最深水路約130m）で囲まれた、巨大なお風呂のような形をしています。日本海では、表層部の海水だけが外海と交換しており、深さ3000mほどの海盆には日本海固有水と呼ばれる冷水塊が存在します。

さらに、日本海の3000～2500mの海洋底の中に、いくつもの大きな高まりがあります。（中央の大きな高まりは大和堆と北大和堆；水深約400m）好漁場としても知られるこれらの高まりは、日本列島が大陸から分かれていく過程で取り残された大陸（地殻）のかけらです。



2億5千～5千万年前
パンゲア大陸の時代



2600～2000万年前
日本海形成の時代



1600万年前

海盆・海溝等の水深は最深部を示している

